

式 辞

うららかな春の装いに包まれた今日の佳き日、松本友見教育委員様、高橋昌弘副市長様を始め、多数のご来賓や保護者の皆様をお迎えして、平成三十年度入学式を挙行できますことに、心から感謝申し上げます。

三十八名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本日より、皆さんは伊里中学校の生徒です。中学生になったら部活動やクラブチームを頑張ろうとか、勉強を頑張ろうなどいろいろな思いを持って今日を迎えたのではないでしようか。小学校では、苦手な教科があった人も、たくさん失敗した人も今日から新しい学校生活のスタートです。今までのことにとらわれず新たな気持ちで学校生活を始めてください。中学校は、自分を変えるチャンスです。

皆さんは、本田宗一郎という人を知っていますか。この人は、ホンダという自動車会社をつくった人です。この人の言葉に「人間が、いろんな問題にぶつかって、はたと困るといふことは、すばらしい『チャンス』なのである。」というのがあります。本田さん自身が新しいクルマの開発の途中、いろんな問題にぶつかり、困り、悩んだあげくやっとの思いで開発を重ねてきたその積み重ねによって、世界のホンダと言われる会社を作り上げたことをいっている言葉だと思えます。皆さんも、失敗や問題を乗り越えていけるそんな中学生になってほしいと思います。

しかし、問題を乗り越えることは本当に大変なことです。でも、そんな時、周りの仲間が応援してくれたり、声をかけたりしてくれるとそれは大

きな力になります。一年生三十八人の協力とパワーと全校生徒百二十四名の力で、先輩たちが築き上げてきた伊里中学校をさらに素晴らしい学校に作り上げてください。

チャレンジするあきらめない気持ちと友達を思いやり支える気持ちを持った中学生になってください。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。中学生は不安定な時期と言われますが、心身ともに大きく成長する時期でもあります。中学校では、指導すべき事は指導し、任せるところは任せ、生徒たちが自分の力で困難を乗り越え、自分の未来を拓いていける力を高めたいと考えています。

そのためには、学校と保護者の方々との連携、協力は欠かせません。どうか、担任を中心に、学年主任や学年団と十分連携をとって一丸となって、伊里中学校の生徒たちを支えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

また、地域の皆様、いつも伊里学園を見守ってくださりありがとうございます。今年度も皆さんに期待される地域の学校をめざして頑張っています。子どもたちへの温かい声かけ、学校園へのご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。最後になりますが、入学式にご列席の皆様さま方に、重ねてお礼を申し上げますと共に、三十八名の新入生全員が、明日から伊里中学校の生徒として、様々な困難を乗り越えて、頑張ってくれることを心から願いつつ、式辞といたします。

平成三十年四月十二日

備前市立伊里中学校

校長 松田 典久